

脱炭素先行地域

109万市民の“日常”を脱炭素化

～「働く人」「暮らす人」「訪れる人」が豊かな時間を過ごせる“新たな杜の都”～



仙台市 環境局 先行地域推進室

1. 「脱炭素先行地域」の概要

■ 「脱炭素先行地域」とは

2030年度までに、民生部門（家庭部門および業務その他部門）の電力消費に伴うCO₂排出実質ゼロを実現するとともに、運輸部門等その他の分野も含めて温室効果ガス排出削減を目指す地域を、環境省が2025年度までに**少なくとも100カ所選定**するもの。
選定された場合には、「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」が交付される

■ 地域脱炭素移行・再エネ推進交付金

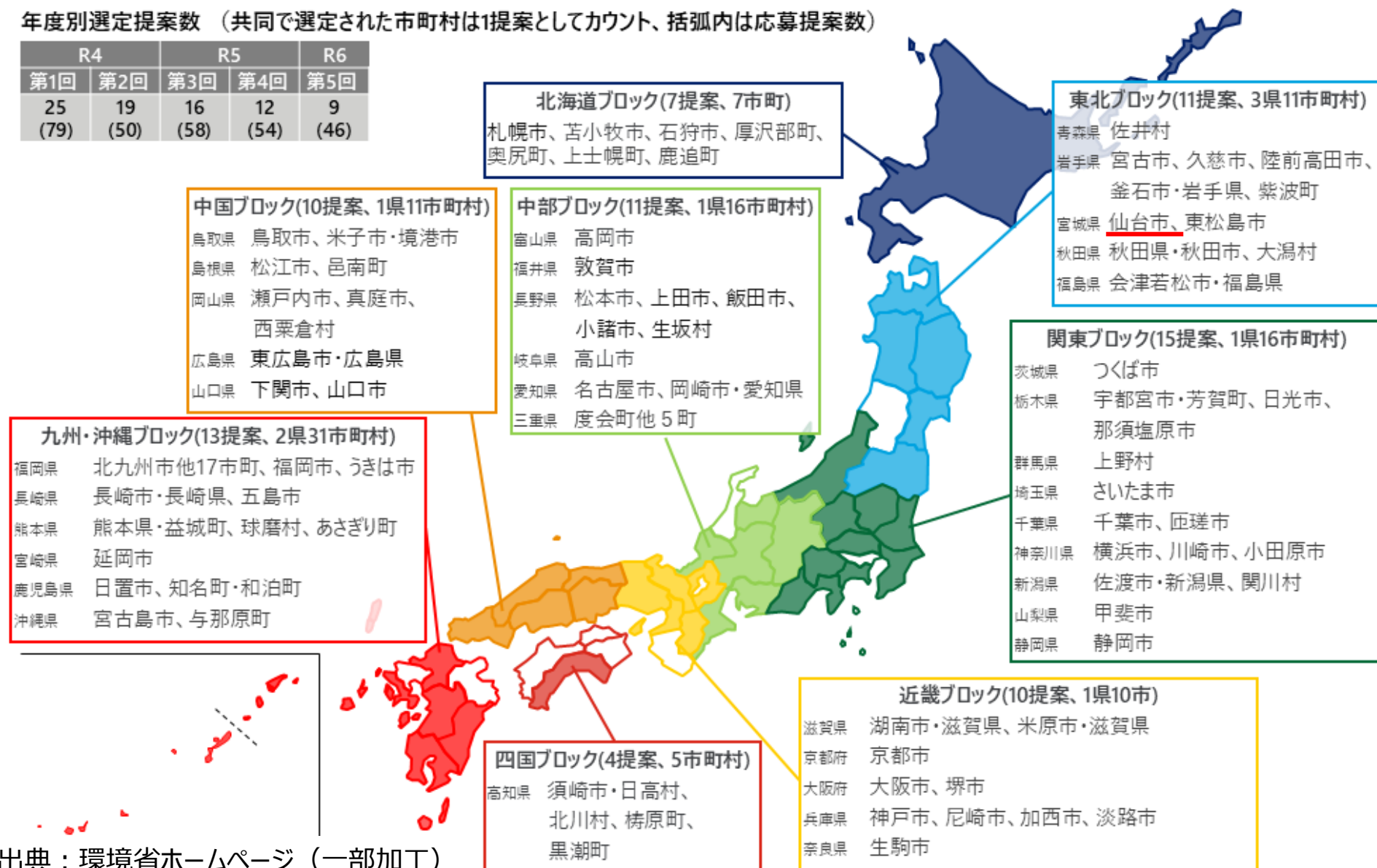
交付対象	地方公共団体
交付率	原則 2/3
交付額	最大50億円/計画
交付期間	概ね 5 年間
支援内容	・再エネ設備（太陽光発電設備等） ・省CO₂等設備（高効率空調、LED照明等） ・基盤インフラ設備（エネルギーマネジメントシステム等）

2. 「脱炭素先行地域」の選定状況

- 第4回において本市が選定。第5回までで、**81提案**が選定

年度別選定提案数（共同で選定された市町村は1提案としてカウント、括弧内は応募提案数）

R4		R5		R6
第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
25 (79)	19 (50)	16 (58)	12 (54)	9 (46)



3. 脱炭素先行地域計画の概要【対象エリア】

脱炭素先行地域の対象エリア



定禅寺通エリア

- ・ **杜の都**を代表するシンボルロード
- ・ 週末はイベントで多くの人が集う
- ・ 道路・公園再整備など、新たなまちづくりが始まる地域



泉パークタウンエリア

- ・ **仙台最大の郊外住宅団地**
- ・ 住宅の改修時期を迎えている
- ・ 隣接の新規住区（朝日地区）でスマートシティの取組が開始



東部沿岸エリア

- ・ **東日本大震災の津波被災地**
- ・ 防災環境都市の象徴として、国内外に広く発信
- ・ 集団移転跡地に観光施設等の立地が開始





脱炭素先行地域

4. 脱炭素先行地域計画の概要【全体像】

タイトル

109万市民の“日常”を脱炭素化

～「働く人」「暮らす人」「訪れる人」が
豊かな時間を過ごせる“新たな杜の都”～

事業期間

令和6年度～令和12年度（交付金の活用は令和10年度まで）

取組の
方向性

- 2050年ゼロカーボン社会に向けて、**109万都市・仙台の日常を脱炭素化**
- 2030年以降を見据え、市民の意識醸成と**地元事業者の技術力・競争力向上**を図る

"日常"の脱炭素化に向けて

- ① **脱炭素リノベーション**で、快適な都市空間を創出
- ② 脱炭素モビリティで、市内の回遊性を向上
- ③ **地元事業者の技術力・競争力をアップ**
- ④ 脱炭素・資源循環の**人づくり**
- ⑤ **東北大学の知見**を活用した取組の高度化

本市を象徴する
3エリアで
取組を展開



定禅寺通エリア（働く・集う）

- 省エネ改修・ZEB改修など「**業務ビルの脱炭素リノベーション**」を実施
また、ビルオーナー・地元事業者向け**ZEB改修体験会**を開催
- ゼロカーボンイベントなど脱炭素の「見える化」を促進
- 「**都市バイオマス資源**」を活用し、サステナブルなまちづくりを推進

泉パークタウンエリア（暮らす）

- 太陽光発電等の導入や断熱改修など「**住宅の脱炭素リノベーション**」
- **高度なエネルギーマネジメント（DR/VPP）**を既築住区で展開
- 地元工務店と連携しリノベーション体験会や断熱スクールを開催

東部沿岸エリア（学ぶ・楽しむ）

- EVカーシェアなど、**脱炭素モビリティの導入**
- 太陽光パネルのリユースなど、防災・環境技術の実証フィールドに活用
- 観光施設等に**再エネを最大限導入**

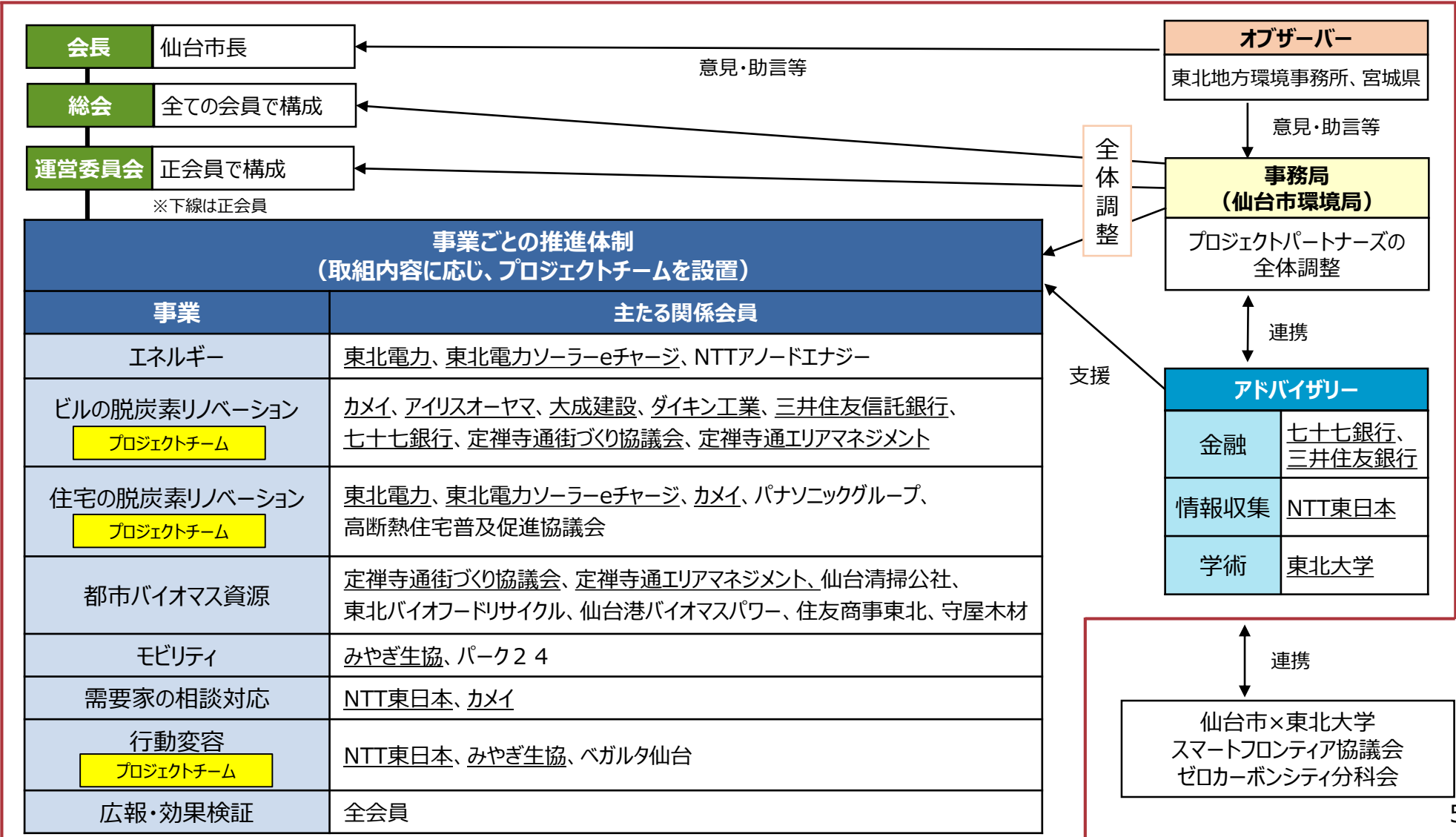
全エリア共通

- **地産地消型の再エネ電力メニュー**を新たに創設
- 省エネ推進など、**市民の行動変容**を促進
- 市営バス、ごみ収集車、配送トラックなど**運輸部門の脱炭素化**

5. 脱炭素先行地域計画の概要【推進体制】

脱炭素先行地域の取組を着実に推進するため、本市、民間企業や地域団体、大学など、**計25の会員**で構成される「**仙台市脱炭素先行地域プロジェクトパートナーズ**」を中心に推進中。

【体制図】



6. 特徴的な取組み：「中小雑居ビル」の脱炭素化

■ 取組みの概要

- ・ 定禅寺通には、個人のビルオーナーが所有する中小テナントビルが多く、老朽化が進んでいる
- ・ 道路や公園の再整備が予定されており、周辺エリアを含めた新しいまちづくりの機運が高まっている
- ・ **既築ビルの省エネ・ZEB改修**を進め、サステナブルで魅力的な空間を創出する

■ 先進性・モデル性

- ・ 中小規模の"雑居ビル"の脱炭素化は、ゼロカーボン社会の実現に向けて、極めて重要な取組み
- ・ 営業を止めない「**使いながら改修**」や、**地域団体・民間事業者等によるサポート体制**で取組みを推進。
そのプロセスも含め、他都市に展開できるモデルを創出する



定禅寺通の景観



定禅寺通エリア内の雑居ビル

7. 特徴的な取組み：都市バイオマス資源の活用

■ 取組みの概要

- ・ 定禅寺通では、早朝にカラスが事業ごみを荒らし、長年の課題となっていた
- ・ 飲食店等から出る**生ごみを分別収集し、バイオマス発電**に利用
⇒ 令和6年5月から食品リサイクルモデル事業を実施（現在69店舗が参加）
- ・ **剪定枝の一部を家庭系プラと混合**しオリジナルタンブラーを制作、地域のイベントで活用する

■ 先進性・モデル性

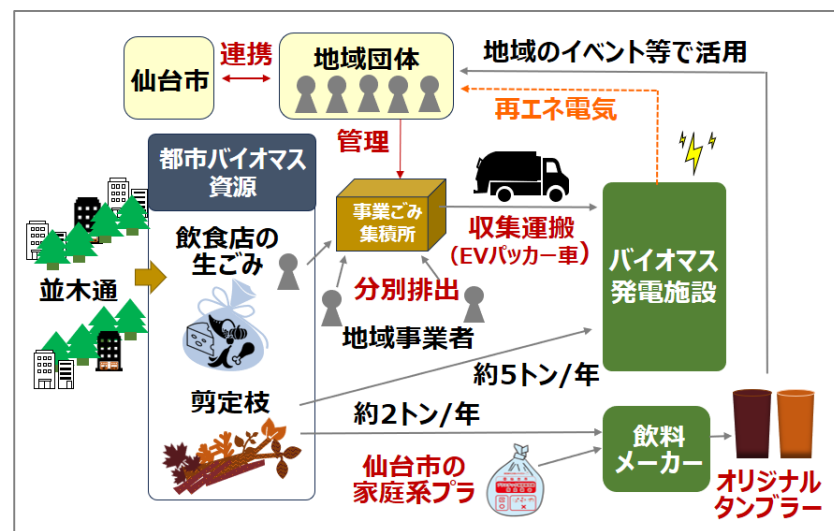
- ・ 太陽光パネルの設置が難しい**都心部における再エネ創出**、資源循環・サーキュラーエコノミーの推進
- ・ 全国の並木通に展開できる**サステナブルなまちづくりのモデル**を創出する



定禅寺通の事業ごみ散乱の様子



定禅寺通オリジナル
タンブラー



8. 令和6年度の取組み：ゼロカーボンPRイベントの実施

■ 取組みの概要

- ・ゼロカーボンPRイベントを実施し、再エネ体験やクイズ等により、**楽しく脱炭素の必要性を学ぶ機会**を提供（2日間で**延べ1,000人を超える**市民等が参加）
- ・併せて、発電機燃料のゼロカーボン化・プラスチックの水平リサイクル・生ごみリサイクルの検証を実施

■ 今後の展開

- ・定禅寺通エリアで行われるイベント主催者への補助（市独自）により、**イベントのゼロカーボン化を促進**
⇒ ビルの脱炭素化と合わせて、**サステナブルでエコロジーな都市空間を創出**



イベントの様子



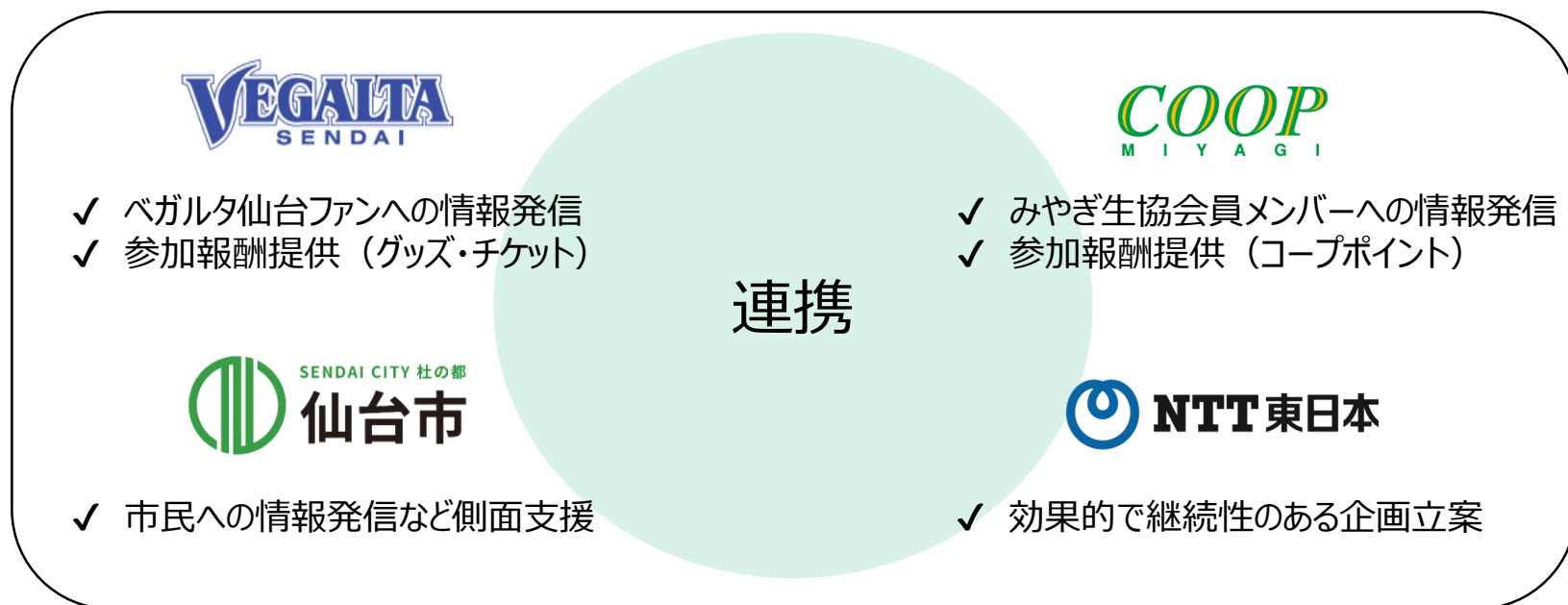
バイオマス由来の燃料を活用した発電機

9-1. 令和6年度の取組み：市民の行動変容の促進

■ 取組みの概要

- ・ プロジェクトパートナーズ会員であるベガルタ仙台、みやぎ生協、NTT東日本が本市と連携し、市民の環境配慮行動を促進する「**杜の都脱炭素デイリーアクション**」を実施
- ・ 参加報酬（ポイント等）を付与する等により、**市民のモチベーションを向上**させながら行動変容を促進

各者の役割





脱炭素先行地域

9-2. 令和6年度の取組み：市民の行動変容の促進

■ 取組みのイメージ

STEP 1

fowaldアプリをダウンロード

STEP 2

会員登録をして、
応援コミュニティで「ベガルタ仙台」を選択

STEP 3

クエストを選択

例)
・生協で地元産品を購入
・スタジアムでごみを分別
・5000歩以上歩こう

STEP 4

クエストを実行し、その様子を写真で投稿
→ポイントを獲得

STEP 5

獲得ポイントを使って参加報酬を獲得

例)
COOPポイント
ベガルタチケット・グッズ

■ 実施期間

クエスト実施期間：2025年2月17日～3月16日

応募期間：2025年3月23日まで

※2025年以降は、本取組みの結果を分析したうえで継続予定

残り
1週間!!

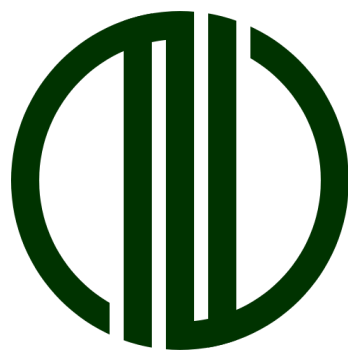


▲「社の都脱炭素デイリーアクション」の詳細はこちら

**社の都脱炭素
デイリーアクション**

ベガルタ仙台 × みやぎ生協
コラボ企画

環境にやさしい簡単な行動で
豪華賞品をGETしよう!



仙台市
SENDAI CITY